

児童防犯教室 進行シナリオ

指導者の進行	板書等	児童の反応(●)と対応(⇒)
<p>導入(例) 学習目的の説明 (2分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今日は、みんながもし知らない人に話しかけられたり、連れていかれそうになったりした時、怖い思いをしないようにするにはどうすればいいのか、という事についてお話しします。 <p>〔</p> <ul style="list-style-type: none"> みんなの大切な人、大好きな人を頭に思い浮かべてください。今思い浮かべた人が急にいなくなってしまうたら、どんな気持ちになりますか？ 同じように、みんながもし危ない目にあったり、急にいなくなったりしたら、みんなを大切に思っているおうちの人や友達、先生、周りの人がとっても悲しくなります。 そんな事が起きないように、みんなの1つしかない身体や命を守るための勉強です。 <p>〕</p>		<p>●「<u>悲しい</u>」「<u>心配</u>」 等</p>
<p>「いかのおすし」の確認 ①知らない人について「いか」ない (10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今日は「いかのおすし」という合言葉を勉強します。保育園や幼稚園のときにお約束を勉強しましたか？ 「いかのおすし」の「いか」は、どんな約束でしょうか。 では、<u>知らない人についていかない</u>を考えるクイズを出します。周りとは相談しないで、自分で考えてみましょう。 【4人の大人の顔写真を用意(男女、年齢、表情、マスク・帽子着用など差をつける)】ここに4人の写真があります。この中で、この人なら一緒について行ってもいいな、とか、この人なら一緒に車に乗ってもいいな、と思う人がいたら手を挙げてください。何回手を上げてもいいです。 (1枚目から順番に聞く) この写真の人について行ってもいいと思う人？ (4人分を聞き終わってから、改めて1枚目から順番に聞く) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>いか</u> <u>の</u> <u>お</u> <u>す</u> <u>し</u> (縦に書く) ・ <u>知らない人について</u> <u>いかない</u> (答えを受けて <u>いか</u> の横に書く) ・ 4人の顔写真を貼る ・ 手を挙げた人数を写真の下に書く 	<p>⇒知らないようなら質問せず教師が進行する。</p> <p>●「<u>知らない人についていかない。</u>」 ⇒「誰に」かも引き出す。</p> <p>⇒人の意見に影響されがちなので各自で考え答えさせる。</p> <p>●<u>挙手で回答する(判断が見た目に左右されがち)</u></p>

指導者の進行	板書等	児童の反応(●)と対応(⇒)
<p>では、どうしてついて行っていいと思ったのか(だめだと思ったのか)、発表してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 正解は、「<u>4人全員ついて行ってはいけない</u>」のです。どうしてか分かりますか。(名前や住所を知っていますか? 会ったことがある人ですか?) 初めて会った人が本当にいい人なのか、悪い人なのかは分かりません。 優しくとか、怖そうとか、見た目ではありません。知らない人には絶対についていけないでください。 	<ul style="list-style-type: none"> 意見を人数の下に書く 4人に「×」を書く 	<ul style="list-style-type: none"> ●「<u>優しくだから</u>」「<u>笑っているから</u>」「<u>怖そう(怪しそう)だから</u>」等 ●「<u>全員知らない人だから</u>」 ⇒「不審者だから」などが出やすいが、「知らないから」ついて行ってはいけないことに導く。
<p>「いかのおすし」の確認 ②知らない人の車に「の」らない (4分)</p>		
<ul style="list-style-type: none"> では次の「いかのおすし」の「の」はどんな約束でしょうか。 では質問です。車に乗った知らない人に「車に乗って、一緒にこいぬを見にいかない?」と声をかけられたらどうしますか? それでは、「あなたのおうちの人が救急車で運ばれたから、病院に行くから車に乗って」と言われたら、どうしますか。 どちらも正解は「<u>車には乗らない</u>」です。<u>知らない人の車にのらない</u>という約束でしたね。 どんな言葉をかけられても、知らない人の車には絶対に乗らないでください。 もうひとつ覚えておいてほしいのは、知らない車から離れることです。 「乗りません」と言っても、車の近くにいたら無理やり連れ込まれてしまうかもしれません。車が動きだしたら降りて逃げられないし、あっという間に遠くに連れさられてしまいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>知らない人の車にのらない</u> (答えをうけて <u>の</u> の横に書く) 	<ul style="list-style-type: none"> ●「<u>知らない人の車に乗らない</u>」 ⇒「誰の車」かも引き出す。 ●「<u>乗らない</u>」「<u>逃げる</u>」等
<p>「いかのおすし」の確認 ③「お」おごえを出す (7分)</p>		
<ul style="list-style-type: none"> では次の「いかのおすし」の「お」は何でしょうか。 怖い目に遭いそうになったときは、<u>おごえをだし</u>て周りに知らせる必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>おごえをだす</u> (答えをうけて <u>お</u> の横に書く) 	<ul style="list-style-type: none"> ●「<u>大声を出す</u>」

指導者の進行	板書等	児童の反応(●)と対応(⇒)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大声を出すとき、みんなならどう言いますか。 ・ 「キヤー！」とか「ワー！」という言葉は、叫びやすいけれど、その声を聞いた人が「楽しそうに遊んでいるな」って思って、助けに来てくれなかったら困りますね。 ・ だからもし、嫌な言葉を掛けられたり、体を触られそうになったりした時は、「助けて！」や、「嫌だ！」とか「やめて！」「誰か来て！」など、周りの人が何かあったのかなと気付いてくれるような言葉を叫んでください。 ・ では、みんなで「助けて！」と言ってみよう。(クラス全員で声を出す) (時間があれば、1人ずつや列・班ごと、体に触られたら声を出すなどをやってみてもよい) ・ 大きな声が出せました。クラス全員でやると、恥ずかしくないし、大きな声も出しやすいですね。でも、少ない人数や1人の時は、声がちょっと出にくいですね。 ・ 本当に怖い目にあったらどうでしょう。大人でも、いざというときには、大きな声が出なくなってしまうこともあります。 		<p>●「ワー!」「キヤー!」「助けて!」等</p> <p>●複数人では大きな声が出せるが、1人では緊張などで声が出ない子もいる。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人でも大きな音で周りに知らせることができるのが防犯ブザー(笛)です。 ・ これから、防犯ブザー(笛)の音を確認する勉強をします。 ・ みんなで、どんな音がするのか、どれくらいの音なのか、聞きましょう。 (児童の防犯ブザーを借り、5~10秒鳴らす。ランドセルに付けてある場合はそのまま使用) ・ 大きい音で、遠くまで聞こえますね。 ・ では、みんなで鳴らす練習をしてみましょう。 はじめに、先生の注意をよく聞いてください。先生が合図したら、鳴らします。そして、やめる合図をしたら、すぐ止めてください。 (5~10秒鳴らして止めさせる。ランドセルに付けてある場合は外さず背負わせて鳴らす。) ・ どうでしたか?すぐに鳴らすことが出来ましたか? 		<p>⇒鳴らす前に遊びでないことを説明する。</p> <p>●大きい音に驚く ⇒感想を聞いてもよい。</p> <p>⇒先にルールを説明し、児童が遊んだり騒ぎすぎないようにする。</p>

指導者の進行	板書等	児童の反応(●)と対応(⇒)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯ブザー（笛）は、いざという時にすぐ鳴らせる位置に付けましょう。 ・ ランドセルに付けるときは、横ではなくて、手の届く肩のところが良い場所です。手が届かなかった人は、すぐ鳴らせる位置に付け直してもらいましょう。 ・ 音が鳴らなかった人はいませんか？ ・ 防犯ブザーの中には電池が入っています。使っていないなくても自然に電池がなくなってしまうので、たまにお家の人と確認しましょう。 ・ 今日は、勉強のために、防犯ブザーを鳴らしました。でも、遊びでは絶対に鳴らしてはいけません。遊びで音を出していると、いざという時に助けてもらえなくなってしまいます。 		
「いかのおすし」の確認 ④「す」ぐ逃げる (2分)		
<ul style="list-style-type: none"> ・ では、いかのおすしの「す」は何でしょうか。 ・ 嫌な事をされそうになったり、怖いことがあったりしたら、走って<u>すぐにげ</u>て、その人から離れましょう。どこに逃げるといいでしょうか。 ・ 近くにあるお店やおうち、学校など、大人がいる所に逃げましょう。 ・ 『こども110番の家』の看板を見たことがありますか？みんなが助けて欲しい時、困った時に入っていよいよ、と知らせている看板なので、この看板がある所に逃げてもいいですよ。 ・ 「隠れる」のはよくありません。隠れていて見つかってしまうと、それ以上逃げることができず、危険だからです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>すぐにげる</u> (答えをうけて <u>す</u> の横に書く) ・ 「こども110番の家」のプレートを見せる 	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>「すぐ逃げる」</u> ● <u>「家」「交番」「学校」「隠れる」等</u>
「いかのおすし」の確認 ⑤大人に「し」らせる (7分)		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 最後は、いかのおすしの次の「し」です。何でしょうか。 ・ 逃げたあとで大切なのが、<u>大人に知らせる</u>ことです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>おとなにしらせる</u> (答えをうけて <u>し</u> の横に書く) 	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>「大人に知らせる」</u> ⇒ 「誰に」か引き出す。 ● <u>「お母さん」「おまわりさん」「大人」等</u>

指導者の進行	板書等	児童の反応(●)と対応(⇒)
<ul style="list-style-type: none"> 『どんなことをされたのか、されそうになったのか』、『どんな格好をしていたのか』『車に乗っていたのか』など、何でもいいので、覚えていたことを大人に話してください。 そうするとおまわりさんが見つける手がかりになるし、悪い人がまた同じことしないように、大人も注意することができます。 		
知らない人に話しかけられた時の対応方法 (10分)		
<ul style="list-style-type: none"> では、最後に、「知らない人に話しかけられたとき」にどうしたらいいか考えましょう。 ひとりで公園で遊んでいたら、知らないおじさんに「〇〇（小学校など）はどこですか？」と聞かれました。みんなだったら、どうしますか？ <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> 無視する、教えないと答えた人は、このおじさんが、本当に困って話しかけていたら、どうしますか？無視したり、教えなかったりしたら、おじさんがかわいそうですね。 連れていく、と答えた人は、連れて行ってあげるのは優しく親切だけど、このおじさんが嘘をついている悪い人だったら連れ去られてしまうかもしれませんよ。 さあ、どうしたらいいでしょう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 最初の写真のクイズを思い出してください。初めて会う人は、いい人か悪い人か、困っているのか、嘘をついているのか分かりませんね。 一番良いのは「大人に知らせる」ことです。「今、大人の人を呼んでくるので、待っていてください」というように答えてください。本当に困っている人なら、大人を連れてくるまで待っています。悪い人なら、大人が来る前に逃げるはずですよ。 もし、聞かれた場所がすぐ近くだったら「あそこです！」と指をさして教えてもいいですよ。 ひとりで連れて行ってあげるのはよくありません。万一、悪い人だったら、連れ去られてしまうかもしれないからです。 困った人を助けてあげたいという気持ちは、優しく大切なことです。でも、みんなはまだ体が小さくて、大人の力にはかなわないので、自分で連れて行ってあげるのはもう少し大きくなってからにしましょう。 		<p>●無視する、教えない、嘘を教える、連れていく 等</p> <p>⇒よい人、悪い人が分からないときに、どのような対応をするのがよいか考えさせる。</p>

指導者の進行	板書等	児童の反応(●)と対応(⇒)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「知らない人に話しかけられたとき」に、どのくらいの距離で話したらよいでしょうか。 ・ 先生が知らない人の役をやりますので、子ども役をしてくれる人をお願いします（児童を指名する） ・ （肩をつかめる位置に立ち）このくらいの近さで話していると、もし知らない人が悪い人だったら、こんなふうにすぐに体に手が届いてしまいますね。（手や肩などを触る真似をする） ・ 肩や腕をつかまれて、連れていかれてしまうかもしれません。 ・ 【長さ 140cm の紐を用意（紐を使わず、手の届かない距離を保って立つ練習でもよい）】では、この紐の端をおへその前で持って、紐がピンとなるように離れてください。（それぞれ両端を持ち、紐が張るように立つ） ・ 紐がピンとなっているときは手が届かないですね。（手を伸ばす） ・ （児童に 1 歩近付き紐をたるませる）でも、知らない人がこうやって近づいたら、簡単に身体を触ったり手をつかんだりされてしまいますね。どうしたら良いと思いますか？ ・ 道を聞きたい人だったら、逃げたらお話ができなくて困りますね。 ・ （児童に紐がピンと張るように離れてもらう）こうやって同じ距離をとっていれば、安全にお話ができます。初めて会う人とお話する時は、こうやって少し離れてお話ししましょう。 	<p>長さ 140cm の紐を用意</p>	<p>⇒実際につかむと恐怖を感じる場合があるので、触る程度にする。</p> <p>●離れる、逃げる 等 ⇒まずは「距離を保つ」よう指導する。</p>
<p>まとめ (3分)</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 道などで知らない人に声をかけられることもあると思いますが、怖いことや、悪いことをしようとしている人はほんの少しの人だけです。ほとんどの人はみんなが元気であることを願っているし、本当に困って話しかけてくる人もいます。 ・ 今日は、「いかのおすし」の合言葉で、知らない人に話しかけられたり、連れていかれそうになったりした時、怖い思いをしないためにはどうすればいいのかを勉強しました。 ・ 最後に全員で「いかのおすし」の約束を言って、しっかり覚えておきましょう。 	<p>（板書を指しながら順に復唱。時間がなければ省略）</p>	<p>●知らない人について行かない (順に復唱)</p>

参考①

こども 110 番の家 表示プレート



参考②

お話の絵

